

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	M-Prep Neutraliser 5A
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

1.2 化学品の推奨用途と使用上の制限

記載されている用途	PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)
~ に対して助言された用途	知られていない。

1.3 供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急連絡用電話の番号

(00-1) 703-527-3887
CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

2.1 指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC) 供給/使用に対して危険物に分類されていない。

2.2 表示要素

欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば

製品名	M-Prep Neutralizer 5A
危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
注意喚起語	割り当てられていない。
危険有害性情報	割り当てられていない。
危険有害性情報	割り当てられていない。

追加情報 なし。

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

2.3 他の危険有害性 なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.2 混合物

EC 分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
Sodium tetraborate pentahydrate	< 0.01	12179-04-3	215-540-4	割り当てられていない。	眼刺激性物質 区分 1; H318 生殖毒性 区分 1 A; H360FD SCL ≥ 6.5%

H318: 重篤な眼の損傷。 H360FD: 生殖性及び胎児に害を与えるかもしれない。 SCL: 特定の濃度限界

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	EC 分類 と リスク警句
Sodium tetraborate pentahydrate	< 0.01	12179-04-3	215-540-4	割り当てられていない。	Xi; R41 生殖毒性 区分 2; R60 生殖毒性 区分 2; R61

Xi; 刺激性がある。 R41: 目に重度の障害を与えるリスクがある。 R60: 生殖機能を損なうことがある。 R61: 胎児に害を及ぼすことがある。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚接触

水でよく手を洗うこと。 刺激 (発赤、発疹、水疱) があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

水で数分間注意深く洗う。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

口をすすぐ。無理に吐かせない。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

- | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------|
| 4.2 | 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性) | 予想されていない。 |
| 4.3 | 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態 | 必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。 |

5. セクション 5: 火災時の措置

- | | | |
|-----|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 5.1 | 消火剤 | |
| | 適切な消火剤 | 非引火性。周囲の火災に適切な。 |
| | 不適切な消火剤 | 知られていない。 |
| 5.2 | 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 | 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。加熱すると物質が無水アンモニアの蒸気を放出するので、消火活動の際は呼吸用保護具と眼の保護具が必要です。 |
| 5.3 | 消防士へのアドバイス | 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。 |




6. セクション 6: 漏出時の措置

- | | | |
|-----|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 6.1 | 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 | 必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 蒸気の吸入を避ける。 |
| 6.2 | 環境的予防措置 | 環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
| 6.3 | 封じ込めと清掃のための方法および資材 | 物質被害を防止するため漏洩物を吸収する。漏洩物は不活性吸収材で覆うこと。希酸で中和してください。区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。 |
| 6.4 | 他のセクションの参照先 | 次の項を参照: 8, 13 |

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- | | | |
|-----|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7.1 | 安全な取り扱いのための注意事項 | 蒸気を吸入してはならない。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。適切な換気を確保する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。 |
| 7.2 | 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) | 換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。容器を閉じておくこと。 |
| | 保管温度 | 常温の。 <27°C. |
| | 保管期間 | 普通の状態で安定。 |
| | 混触危険物質 | 酸類。、過酸化物類。、金属銅、スズ、亜鉛 およびそれらの合金、ハロゲン化合物。 |
| 7.3 | 具体的最終用途 | PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)。次の項を参照: 1.2 |

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1	管理指標	
8.1.1	職業暴露限度	確立されていない。
8.1.2	生物学的限界値	確立されていない。
8.1.3	PNEC および DNEL	確立されていない。
8.2	暴露管理	
8.2.1	適切な工学的管理	適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。
8.2.2	個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置	化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。蒸気を吸入してはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。
	目/顔面の保護	液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。
		
	皮膚の保護	手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に変更すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。ネオプレン製またはゴム製手袋を推奨します。
		
	呼吸器の保護	通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
		
	熱の危険性	該当なし。
8.2.3	環境暴露コントロール	環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1	基本的な物理化学的特性についての情報	
	外観	無色の液体。
	におい	軽微なアンモニア臭。
	臭いの閾値	資料なし。
	pH	確立されていない。
	融点/凝固点	0°C
	初留点と沸騰範囲	100°C
	引火点	該当なし。
	蒸発速度	<1 (BuAc = 1)
	燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。 - 液体。

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	760 mmHg @ 100°C
蒸気密度	1 (航蟻 ir = 1)
相対密度	1 (Water = 1)
溶解度	水に溶解。
分配係数: n-オクタノール/水	確立されていない。
自然発火温度	確立されていない。
分解温度	確立されていない。
粘度	確立されていない。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報 VOC: 0%

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	有害な重合は起こりません。
10.4 避けるべき条件	本物質に水酸化ナトリウムを加えるか、加熱するとアンモニアが揮発します。
10.5 混触危険物質	酸類、過氧化物類、金属銅、スズ、亜鉛 およびそれらの合金、ハロゲン化合物。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。加熱すると物質が無水アンモニアの蒸気を放出するので、消火活動の際は呼吸用保護具と眼の保護具が必要です。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

急性毒性

摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20.0 mg/l。

皮膚接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

皮膚腐食性/刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖細胞変異原性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

11.2	発がん性 生殖毒性 特定標的臓器への毒性 (単回暴露) 特定標的臓器への毒性 (反復暴露) 吸引性呼吸器有害性 その他の情報	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 なし。
------	-------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 >100 mg/l (魚類)
12.2	残留性および分解性	容易に生分解される。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4	土壌中の移動度	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。水に溶解。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	吸収材を希酸で中和してください。
13.2	追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

		ADR/RID / IMDG / IATA
14.1	国連番号	運送時に危険物として分類されていない。
14.2	適切な船積み名	分類されていない。
14.3	輸送危険分類	分類されていない。
14.4	輸送危険分類	分類されていない。
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。 / 環境的に有害な物質
14.6	使用者に対する特別な注意事項	該当なし。
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した バルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。 .

15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および 環境についての規制/法律
15.1.1	EU規制

改訂: 1.1 日付: 08.04.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

<p>SVHCs</p> <p>15.1.2 国の規制</p> <p>ドイツ</p> <p>15.2 化学物質安全性評価</p>	<p>Sodium tetraborate pentahydrate (CAS 番号 12179-04-3)</p> <p>水質危険クラス: 分類されていない。</p> <p>資料なし。</p>
------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と以下の分類・表示インベントリ Sodium tetraborate pentahydrate (CAS 番号 12179-04-3).

注釈

<p>LTEL</p> <p>STEL</p> <p>DNEL</p> <p>PNEC</p> <p>PBT</p> <p>vPvB</p>	<p>長期暴露限界</p> <p>短時間暴露限界</p> <p>求められた無影響量</p> <p>推定無影響濃度</p> <p>PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性</p> <p>高難分解性、高生物蓄積性</p>
------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。